

株式会社アイ・オー・データ機器
第31期環境報告書

IODATA ENVIRONMENTAL REPORT2006
2005/07 ~ 2006/06



はじめに・・・



【もくじ】

■ はじめに・・・【もくじ】、対象組織・対象期間	2ページ
■ ごあいさつ	3ページ
■ 会社概要	4ページ
■ 主要製品	5ページ
■ 環境方針	6ページ
■ 環境行動指針	7ページ
■ 目標と結果	8ページ
■ 達成状況	9ページ
■ 温室効果ガスの削減	10ページ
■ 廃棄物の削減	11ページ
■ グリーン購入	12ページ
■ 私たちの未来と、地球のために	
環境配慮設計【グリーン購入】	13ページ
環境配慮設計【リサイクル対象製品】	14ページ
環境配慮設計【有害物質の削減】	15ページ
環境配慮設計【PCグリーンラベル】	16ページ
環境配慮販促【お客様とのコミュニケーション】	17ページ
■ 社会貢献活動	18ページ
■ 今後の取組み	19ページ
■ おしまい・・・	20ページ

対象組織	株式会社アイ・オー・データ機器・本社 第1ビル: 〒920-8512 石川県金沢市桜田町三丁目10番地 第2ビル: 〒920-8513 石川県金沢市桜田町二丁目84番地
対象期間	第31期 2005年7月～2006年6月 (一部2006年7月以降の情報を記載) ※第27期は2001年7月～2002年6月、第28期は2002年7月～2003年6月、 第29期は2003年7月～2004年6月、第30期は2004年7月～2005年6月

ごあいさつ



ここ数十年における、私たちの生活の利便性向上と引き換えに、私たちは地球環境を大きく変化させてきました。その変化に伴い、地球規模での異常気象が多発し、生態系や植生が大きく変わり、結果として私たちの生活に大きく影響を与えています。

このかけがえのない地球を、次の世代、その次の世代へ・・・と永遠に受け継いでいくためにも、今私たちが地球環境を守るためにできることを、身近なところから行動することが重要であると考えております。

こうした考えのもと、株式会社アイ・オー・データ機器は、環境に配慮した経営を推進しており、2005年7月に新しい環境方針「事業活動と自然との調和共生」を制定し、『環境配慮型製品の開発』、『グリーン購入(環境負荷物質を含有しない部材・製品の購入)の推進』、『省エネ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)活動の推進』を中心に取組んでまいりました。

アイ・オー・データ機器は、社会とそして弊社の持続的成長の実現を目指し、環境に配慮した経営をより一層推進してまいります。

この報告書は、アイ・オー・データ機器が第31期に実施した環境保全活動の実績と今後の活動について紹介したものです。皆様から忌憚のないご意見をいただければ幸甚に存じます。



2006年10月

株式会社アイ・オー・データ機器
代表取締役社長 細野 昭雄



会社概要



社名	株式会社アイ・オー・データ機器		
設立	1976年 1月 10日		
代表者	代表取締役社長 細野 昭雄		
事業内容	1. 電子計算機装置及び周辺機器装置の開発、製造、販売 2. ソフトウェアの開発、調査、販売 3. 自動制御電子機器の開発、製造、販売 4. 上記に付帯する一切の業務		
本社所在地	〒920-8512 石川県金沢市桜田町三丁目10番地		
主要事業所等の数及び所在地	主要事業所数： 国内10ヶ所 金沢・東京・大阪・札幌・仙台・横浜・名古屋・広島・福岡・秋葉原		
主要製品	増設メモリボード、ストレージ、液晶ディスプレイ、PC周辺機器、特注製品、その他		
従業員数（人）(連結)	第29期 565	第30期 582	第31期 588
売上高（百万円）(連結)	第29期 72,870	第30期 68,135	第31期 70,087
環境保全への取組	2001年7月 環境方針を定め環境保全活動の取り組みを開始 2002年1月 (株)日本環境認証機構からISO14001の認証を取得		
主要事業地域、販売地域	金沢・東京・大阪・札幌・仙台・横浜・名古屋・広島・福岡		
対象市場、顧客の種類	対象市場： パソコン周辺機器 顧客の種類： 家電量販店、PCショップ、代理店等		
活動規模に関する情報 (2006年6月30日現在)	資本金： 3588百万円 当期利益： 557百万円 上場状況： JASDAQ(コードNo. 6916)		

主要製品

ストレージ



あなたの大切なデータを簡単に保存・管理するストレージ(記憶装置)分野でもアイ・オー製品は市場から高い支持を得ています。最新の規格・メディアに対応したドライブにアイ・オーならではの工夫を加えて、使い安さと高い信頼性を兼ね備えた製品を提供しています。

マルチメディア



「録る・見る・創る」—映像&音楽を自分だけのライフスタイルで自由自在に楽しんでみませんか。「Rec-On」「Rec-POT」を筆頭にTV&ビデオキャプチャ、ネットワークメディアプレーヤーなど、マルチメディアを遊び尽くすことに徹底的にこだわります。

液晶ディスプレイ



人とパソコンとの一番大切なインターフェイス「ディスプレイ」。映像をありのままの鮮やかさで映し出す高い色再現性、スマートでスタイリッシュなデザイン、そして環境に配慮した「ECOモード」。これまでの液晶ディスプレイの常識を覆す、最先端の“美”がここにあります。

ネットワーク



MPEG-4による映像・音声のストリーミング配信を可能にしたネットワークビデオサーバ、ホームネットワーク・SOHOに最適な機能を満載した無線LAN、モバイル通信に不可欠な通信ケーブル、インターネットの可能性を拓けるブロードバンドにもきめ細かく対応します。

メモリ



デジカメデータの表示や編集、ゲームやムービーを楽しむ時も、大容量メモリの増設で、あなたのパソコン環境もぐっと快適に。デスクトップPC用からノートPC用、さらにワークステーション用まで、豊富なラインナップを取り揃えています。



環境方針

「事業活動と自然との協和共生」

アイ・オー・データ機器は、パソコン周辺機器のリーディングカンパニーとして、何よりも顧客満足向上を第一に考え、「時代の一步先行く技術力」、「市場を半歩先取りする独創的な製品創り」による情報社会への貢献を企業理念とすると共に、地球環境の保護・保全が世界的な重要課題であることを認識し、全社員参加による環境保全活動を独創的な製品の開発と持てる技術力を駆使し、事業活動と自然との調和共生を目指す。

環境行動指針



1

環境監査の実施、環境委員会活動により環境マネジメントシステムの継続的な改善を図り、地球環境の保全・汚染の予防努める。

2

環境に関連する法律や業界の自主規制を順守し、利害関係者の環境への要求事項に対して積極的に取り組む。

3

環境目的及び環境目標を定め、技術的・経済的に可能な範囲で環境に配慮し以下の活動を実施する。
環境目的及び環境目標は当社の環境影響評価やマネジメントレビューによって定期的に見直しを行う。

- (1) 省エネルギー、省資源及び3R(リデュース、リユース、リサイクル)を考慮し、独創的な製品を開発する。
- (2) 自然環境の汚染と健康被害につながる有害な化学物質を極力含有しない製品のサプライチェーンをグリーン購入活動により構築する
- (3) 電力・灯油などの省エネ活動を実施し地球温暖化ガスの排出抑制に努める
- (4) 資源の有効利用を図るために廃棄物の発生抑制・リサイクル化の推進・リサイクル品の購入に努め、持続可能な社会形成に貢献する 全従業員及び当社のために働く全ての人々に、環境問題への理解及び地球環境への意識向上を図る

4

全従業員及び当社のために働く全ての人々に、環境問題への理解及び地球環境への意識向上を図る。

2005年7月

株式会社アイ・オー・データ機器
代表取締役社長 細野 昭雄

31期環境目標と結果



No.	担当部署	取り組み内容	目標	結果	評価
1.事業活動で消費するエネルギー・資源(廃棄物)への環境配慮					
1-1	総務部	電気・灯油などの使用量の削減 (27期比CO2換算)	6%	3.8%	未達成
1-2		廃棄物(不要物)のリサイクル比率	80%	80%	達成
2.購入品での環境配慮					
2-1	総務部	事務用品のグリーン購入比率	80%	92%	達成
2-2	技術支援部	紙購入量削減率(29期比)	15%	30.1%	達成
2-3		製品環境情報作成	上期 180製品 下期 300製品	上期 182製品 下期 312製品	達成
2-4	調達支援部	グリーン企業調査票の回収率 製品・部品でのグリーン購入	90%以上	69%	未達成
3.設計での環境配慮設					
3-1	コモディティユニット	環境配慮設計事項の評価適合率	50%以上	57.9%	達成
3-2	イージーディスク ユニット	環境配慮設計事項の評価適合率	40%以上	42.1%	達成
3-3	エンターテインメント ユニット	環境配慮設計事項の評価適合率	30%以上	42.8%	達成
3-4	液晶ディスプレイ ユニット	環境配慮設計事項の評価適合率 (G.V.Cシリーズ新ディスプレイ製品)	70%以上	92.0%	達成
3-5	メモリユニット	環境配慮設計事項の評価適合率	65%以上	77.4%	達成
3-6	ネットワーク& ソリューション ユニット	環境配慮設計事項の評価適合率	30%以上	35.0%	達成
4.販促での環境配慮					
4-1	営業支援部	WEBやメルマガにて当社の環境活動を 案内する	6件	6件	達成
5.環境保全活動					
5-1	技術支援部	環境保全活動	6件	7件	達成

達成状況



1. 事業活動で消費するエネルギー・資源(廃棄物)への環境配慮

31期は30期に引き続き、エネルギー消費量のCO2換算で6%削減を達成することはできませんでした。電力使用量は30期に比べ削減できたものの、猛暑・寒波と気象の影響により、灯油使用量の削減にはいたりませんでした。

廃棄物(不要物)のリサイクル率は輸送用の木製パレットのリユースに努めたことにより、順調に目標を達成することができました。

2. 購入品での環境配慮

事務用品のグリーン購入では再生紙で作られた封筒、リサイクルトナーの使用を100%達成しました。

また、事務用品を社内でリユースすることで購入量を抑えることができました。

電子文書管理システムの導入により、紙での帳票や書類を大幅に減らすことに成功。当然、紙の購入量も31期の目標値15%を大幅に上回り、30%削減することができました。

しかし、製品・部品調達でのグリーン企業調査では調査票の回収が思うようにいかず、目標を下回り、残念な結果となりました。

3. 設計での環境配慮

すべてのユニットにおいて、環境配慮設計の目標値をクリアすることができました。

各ユニット内で環境配慮設計の教育・啓蒙活動を実施するなど、一人一人の意識を高める取組みが結果につながりました。

4. 販促での環境配慮

30期でも実施し、お客様とのコミュニケーション手段として有効であったWEBやメールマガジンでの環境情報発信は31期も継続し、当社の地域貢献活動などの環境活動をお知らせしました。

5. 環境保全活動

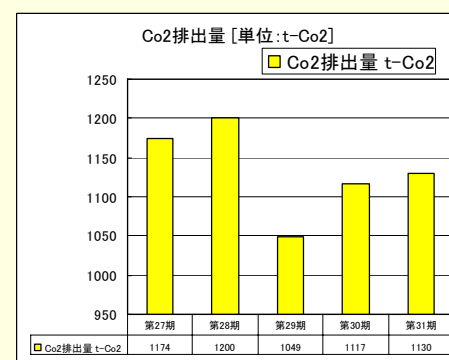
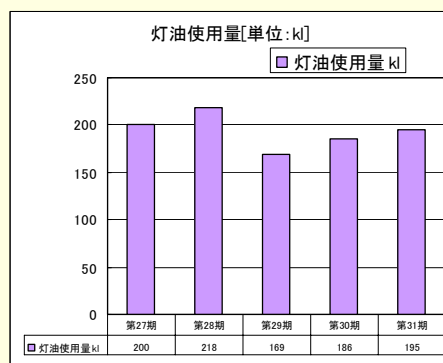
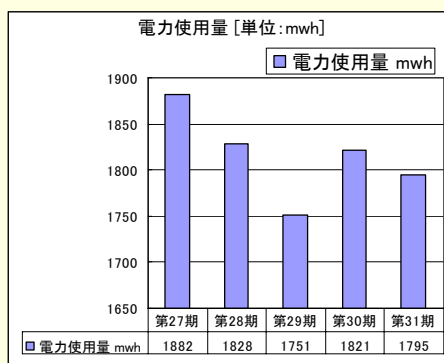
31期でも新入社員による地域の清掃活動を実施しました。

「ブラックイルミネーション 2006」の活動に参加し、社内への案内を大体的に行うことで、社員一人一人が環境保全活動について再認識することができました。

温室効果ガスの削減

【31期 環境目標】

電気・灯油などの使用量を、CO2換算で27期比6%削減する。



電力・灯油の削減		第27期	第28期	第29期	第30期	第31期			
一人あたり使用量削減 (第26期比)	目標	2%以上		6%以上					
	結果	7%	達成	1.5%	未達成				
Co2換算で削減 (第27期比)	目標			2%		6%			
	結果			10.6%		達成	4.8%	未達成	3.8%
電力使用量	mwh	1882	1828	1751	1821	1795			
灯油使用量	kl	200	218	169	186	195			
Co2排出量	t-Co2	1174	1200	1049	1117	1130			

昨年度の記録的な猛暑に続き、今年度の記録的な寒波と、異常気象が続いたことにより27期の使用量は下回りましたが、削減目標とした6%を達成することができず、3.8%となりました。

目標の達成ができず残念な結果になりましたが、今までになかった施策を実行しました。

- ・閉館時間の設定
- ・空調のタイマー設定
- ・ライトダウンキャンペーンの期間中(6月)当社のネオンライト消灯(20:00以降)

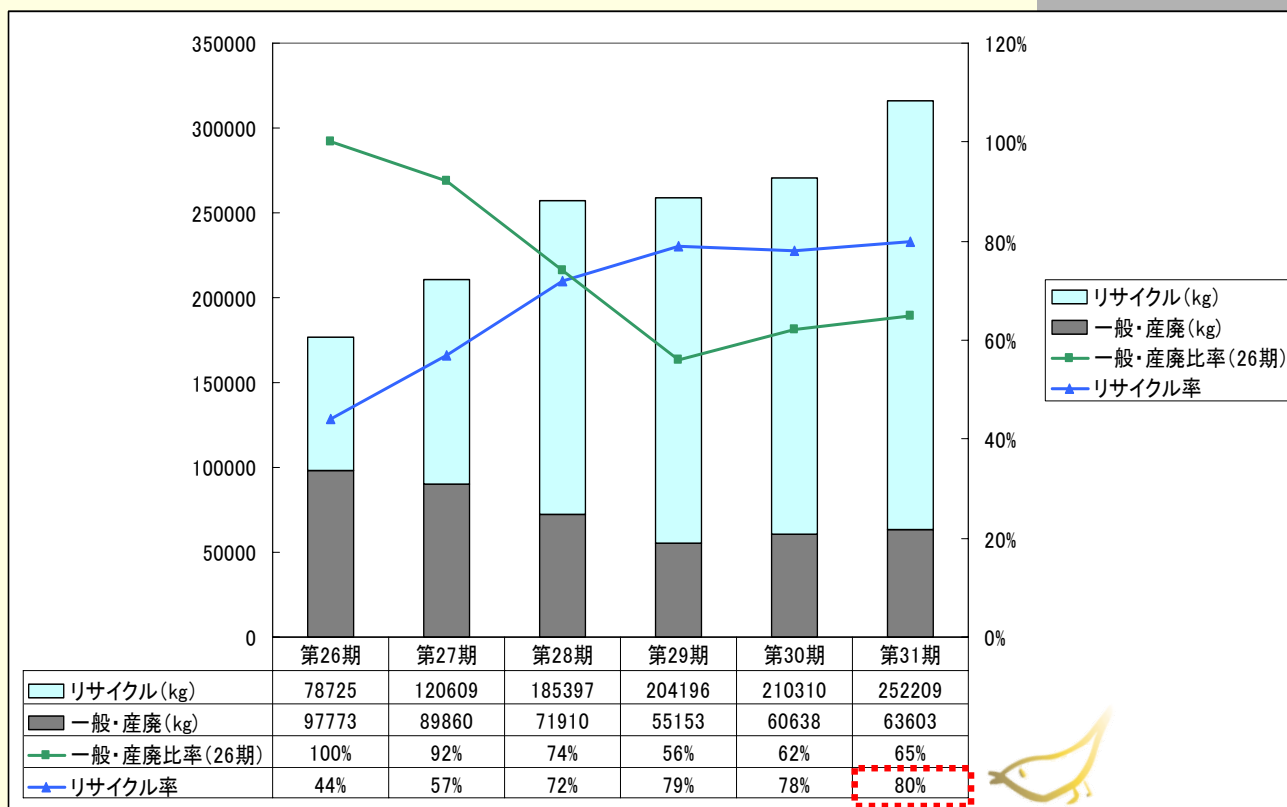
夏季に空調の停止時間も設けてみましたが、猛暑のため、途中断念しました。しかし、使用量が増加している状況を見つめ直し、削減に向けて新たな施策を検討・実行します。

廃棄物の削減

【31期 環境目標】

廃棄物(不要物)を削減するためリサイクル化を推進し、リサイクル比率を80%にする。

達成!



廃棄物(総排出量)推移

第31期は前期に比べ、紙類(ダンボール含む)のリサイクル化率を向上させることができました。

特に木製パレット、発泡スチロールは前期に比べ多くのリサイクルができました。

詳細

リサイクル量 単位: kg

項目	第30期	第31期
紙類(ダンボール含む)	139,870	140,067
プラスチック	13,020	15,809
発泡スチロール	10	211
木製パレット	23,695	65,331

グリーン購入 【31期 環境目標】

31期末(2006年6月30日)までに
グリーン購入対象品目の購入比率80%を目指す。

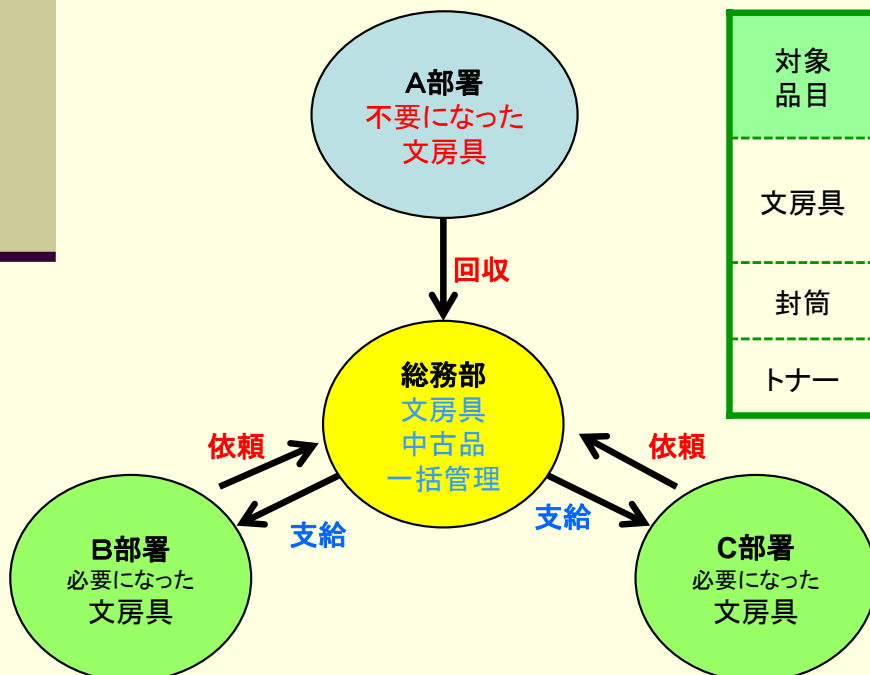
達成!

31期よりグリーン事務用品の対象品目にトナーを追加し、
対象品目である封筒とともにグリーン購入100%を達成できました。

文房具については、まだ69%達成という結果となりましたが、
社内の不要になった文房具をリユースすることで新規の購入を抑える
こともでき、環境により配慮した施策が実施できました。

事務用品の購入		第27期		第28期		第29期		第30期		第31期	
グリーン購入率 (金額)	目標	10%		55%		58%		70%		80%	
	結果	50%	達成	59%	達成	60%	達成	76%	達成	92%	達成

対象品目	グリーン対象の定義	グリーン購入比率
文房具	各メーカーがエコロジー商品として販売しているもの	69%
封筒	再生紙で作られたもの	100%
トナー	リサイクルトナー	100%





私たちの未来と、地球のために

【グリーン購入法】

2000年5月24日に成立し、2001年4月1日から施行された法律で、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」が正式名称です。国の機関や都道府県・市区町村などの地方公共団体、事業者、国民、製造メーカーのそれぞれが、グリーン購入を推進・義務づけることで、持続的発展が可能な社会の構築をめざすものです。

※グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際、必要性を十分に考慮し、価格や品質、利便性、デザインだけでなく環境のことを考え、環境への負荷ができるだけ小さいもの（エコマーク商品など）を優先して購入することです。



グリーン購入法について

グリーン購入法適合製品






アイ・オーではカタログやWebで商品を紹介する際、グリーン購入法に適合している製品には「Gマーク」をつけています。

このマークの付いた製品は「グリーン購入法」に定められた、エネルギー消費効率の基準をクリアした証となっています。

アイ・オーでは、適合製品をWEBページでもご案内しているほか、社外へも積極的に情報公開を行っております。

そのひとつが、(財)日本環境協会が運営する「グリーン購入法特定調達物品 情報提供システム」への登録。OA用紙から自動車まで幅広い分野の適合製品を検索する場合に便利なサイトですので、お客様の製品選びに活用いただけます。

アイ・オーの製品ラインナップでグリーン購入法の対象製品は以下となります。

	対象製品	判断基準	配慮事項(一部抜粋)
1	HDD(磁気ディスク装置) 	エネルギー消費効率が区分※1ごとの基準※2を上回らないこと。 ※1: 単体ディスクについてはディスクサイズとディスク枚数によって区分されている。 ・ディスクサイズ: 75mm以上と40~75mmの2区分 ・ディスク枚数: 1枚、2~3枚、4枚以上の3区分→2×3=6区分 ※2: 区分ごとに計算式が当てられており、その計算式に該当ディスクの回転数を当てはめると基準値が算出できる。 算出した基準値に対して、該当ディスクの実際のエネルギー消費効率(単位: W/GB)のほうが低ければ基準に適合しているといえる。	使用済み製品の回収及び再使用又は再生利用システムがあり、再生利用されない部分については適正処理されるシステムがあること。
2	ディスプレイ 	①以下の基準をすべて満たしていること。 (1)オンモード(稼働時)消費電力 ≤23W(1メガピクセル未満) ≤28XW(1メガピクセル以上) (2)移行時間 ≤30分 (3)スリープモード消費電力 ≤2W (4)オフモード消費電力 ≤1W ②動作が再開されたとき、自動的にしよう可能な状態に戻ること。	特定の化学物質(鉛、水銀、六価クロム、PBB、PBDE)の含有情報がウェブを始めラベル等で容易に確認できる製品であること。
3	OAフィルター (デスクトップ(CRT・液晶)用) 	以下のいずれかの要件を満たすこと。 (1)文具類共通の判断の基準を満たすこと、又は植物を原料とするプラスチックが使用されていること。 (2)枠部は、再生プラスチックが枠部全体重量の50%以上使用されていること。	

【リサイクル対象製品】

弊社では環境保護活動の一環として、回収・再資源化を推進するための各種リサイクルを実施しています。

液晶ディスプレイ



アイ・オーリサイクルステーション

2003年10月1日からアイ・オーは不要になった液晶ディスプレイのリサイクルを行っています。

ご家庭でご利用の場合

■当社では「資源有効利用促進法」にもとづき、ご家庭で使用済みになった液晶ディスプレイのリサイクルを2003年10月1日から実施しています。回収された液晶ディスプレイは、新たな資源として生まれ変わります。

OPCリサイクルマークのある製品

2003年10月1日以降に出荷する家庭用液晶ディスプレイには、右記の(社)電子情報技術産業協会(JEITA)所定のPCリサイクルマークを貼付しています。PCリサイクルマークのある液晶ディスプレイにつきましては、回収・再資源化を**無償**で受付けております。

OPCリサイクルマークが無く、2003年10月1日以降にご購入された製品

PCリサイクルマークが無い液晶ディスプレイを2003年10月1日以降にご購入、ご家庭でご利用いただきましたお客様には、無償でPCリサイクルマークを提供します。回収・再資源化を**無償**で受付けております。

OPCリサイクルマークが無く、2003年9月以前にご購入された製品

PCリサイクルマークが貼付されていない液晶ディスプレイにつきましても、ご家庭でご利用された場合の回収・再資源化を受けいたします。その際の回収・再資源化料金は、**お客様にご負担いただくことになっております。**

1台あたりの費用・・・3,150円(税込)

事業(法人)様でご利用の場合

■事業でお使いの液晶ディスプレイが使用済みになった時に、新たな活用を図り、適正かつ経済的に処理して頂くために、回収リサイクルを実施しております。

■対象機器、質量、回収場所などによって異なりますので、当社アイ・オーリサイクルステーションへ回収依頼をしていただいた後、**個別にお見積もりさせていただいております。**

PCリサイクルマーク



2005年度製品回収・リサイクルの実績(2005年4月～2006年3月)

液晶ディスプレイ	プラント	プラント	再資源化	資源	資源
	搬入質量	搬入台数	処理量	再利用量	再利用率
	(t)	(台)	(t)	(t)	(%)
事業系	0.043	8	0.043	0.034	78.7
家庭系	0.968	179	0.968	0.763	78.7
合計	1.011	187	1.011	0.797	78.7



【有害物質の削減】地球に優しい製品作り

弊社では生活を豊かにするさまざまなIT機器を、廃棄の際、地球に悪影響を与えることがないように環境に配慮した製品作りに取り組んでいます。

有害な化学物質の使用を抑制し、環境負荷を低減

<グリーン調達調査共通化協議会(JGPSSI)に加入>

業界全体の化学物質の調査基準標準化に賛同し、参加企業と足並みをそろえ、有害物質の削減に取り組んでいます。

<J-Moss グリーンマーク表示製品>

J-Mossとは、日本において制定された有害物質(鉛・カドミウム・水銀・六価クロム・ポリ臭化ビフェニル類(PBB類)・ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE類))の含有状況を表示する規格です。

資源有効利用促進法の政省令により、液晶テレビや液晶ディスプレイなどの7品目に上記6物質が基準値以上含有していれば『含有マーク』を表示するよう義務化されました。

表示可能製品)電機機器及び電子機器の本体(部品・付属品・内蔵タイプ除く)

	『含有マーク』は、6物質の含有が基準値を超えることを示すマークです。含有マークの下に記載されている化学物質記号は、基準値を超えている6物質の元素記号を示しています。
	『グリーンマーク』は、6物質の含有が基準値以下であることを示すマークです。

義務化対象製品)

- 1: パーソナルコンピュータ (液晶ディスプレイ含む)
- 2: ユニット形エアコンディショナ
- 3: テレビ受像機 (液晶テレビ含む)
- 4: 電気冷蔵庫
- 5: 電気洗濯機
- 6: 電子レンジ
- 7: 衣類乾燥機

<RoHS指令>

(Restriction of the use of certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipment)の略で、EC95条に準拠した電気器具に含有する6物質原則使用禁止の指令。



アイ・オーではメモリ、コンパクトフラッシュ、液晶ディスプレイ、DVDドライブ等において「RoHS指令準拠」マークを表示しております。アイ・オーでは鉛フリーとRoHS指令に準拠するための評価基準を設け、クリアした製品にこの「RoHS指令準拠」マークを表示しております。従って、このマーク表示製品は鉛フリーを実現し、かつRoHS指令にも準拠しております。



<鉛フリー/ハロゲンフリー>

当社主力製品のメモリモジュールにおいて、鉛フリーに加えてハロゲンフリーのプリント基板を採用し、ハロゲン(塩素、臭素)焼却時に発生するダイオキシンを抑制、環境負荷を低減します。





私たちの未来と、地球のために

【PCグリーンラベル】

弊社では環境だけでなく、3Rも含めて環境に関する企業体制～製品設計／製造面に亘って広範囲に取り組んでいます。

[PCグリーンラベル 制度の概要]

- 「環境配慮型パソコン」を設計・製造できるように企業体制面での整備がなされていること。
- 適切な情報提供が出来る体制がとれていること。
- 環境に配慮した設計・製造がなされていること。
- 3R(リデュース、リユース、リサイクル)に配慮した設計・製造がなされていること。

■ 当社基準 製品環境アセスメントチェックリスト(PCグリーンラベル取得製品)

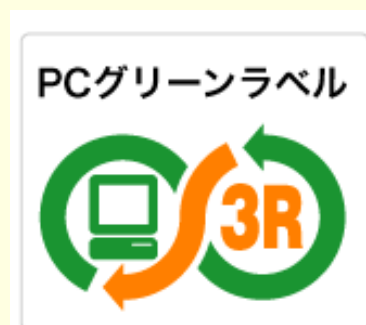
項	確認項目
製品本体の省エネルギーの評価	省エネルギー設計
	消費電力及びエネルギー消費効率等の明示
製品本体のリデュースの評価	製品等の小型化・軽量化・省資源化
	消耗品等の消費削減
	製品等の長寿命化
製品本体のリユースの評価	リユース対象部品等の明確化
	リユース対象部品等を回収するための解体、分離の容易性
	リユースの判定基準
	リユースユニット、部品の清掃容易化
製品本体のリサイクルの評価	リサイクルが可能な材料、部品の採用
	解体、分離が容易な構造
	分別の容易性
処理容易性の評価	製品等の回収、運搬の容易性
	機械破碎、焼却処理施設でのリサイクル・処理の適合性
	処理時の安全性
	処理に関する情報開示
製品本体の環境安全性の評価	安全な材料、部品等の選択 ・鉛フリーはんだの使用 ・ハロゲンフリー材料の採用 ・クロムフリー鋼板の採用 ・塩ビフリー電線の採用
	製造工程における環境影響化学物質等の使用削減
	製品使用中における環境影響化学物質の発生回避
	環境影響化学物質を含む部品類のリサイクル／適正処理等
包装材の評価	リデュースの評価
	リユースの評価
	リサイクルの評価
	処理及び最終処分における環境安全性
情報提供の評価	製品取扱者への情報提供方法の評価
	提供する情報の種類・内容
	提供情報の理解容易性・徹底方法

■実施方法

製品環境アセスメントは、社団法人日本電子工業振興会 発行のガイドライン『情報処理機器の環境設計アセスメントガイドライン』に準じて定められています。
当社基準『製品環境アセスメントチェックリスト』を使用して実施しています。
従来品との相対比較を実施するために、この実施にあたり事前に『比較対照従来製品』を選定します。

■ラベルの意味づけ

循環型社会の形成を促進する意思を表明すると共に、業界共通の自主的指針(目標)を満たしたラベル





【お客様とのコミュニケーション】

弊社ではWebやメールマガジンを通して環境保護活動の取組みをご紹介します。(6回/年)
お客様からのご感想・ご意見を多数頂き、コミュニケーション手段として大きな役割を果たしています。

メールマガジン **多くのご感想・ご意見 ありがとうございます！m(_ _)m**

弊社発行のメールマガジンでは年6回、環境に関する取組みをご紹介します。
環境に関する記事を掲載したときは、お客様より必ずご感想・ご意見が届きます。世の中の環境への関心の強さがひしひしと伝わってきます。
こういったお客様とのコミュニケーションのなかで、いろいろなご感想・ご意見を多数頂くことによって、環境活動のあり方や内容に一層の努力と工夫に努めていきます。
ここではメールマガジンに掲載した記事とお客様からの声を一部紹介します。



☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆..
発行年月日:2005年07月07日

取扱説明書のHTML化による紙使用量削減 を掲載

150製品の取扱説明書をHTML形式としてCDIに収め、紙使用量を削減したことについて

お客様の声:42255000頁にもものぼる大規模な紙使用量の削減はすばらしい！

☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆..
発行年月日:2005年11月10日

素材表示マークって...?
容器包装リサイクル法対象物に対する、分別排出・回収が必要である旨の識別マークのことです。
 や  なマークです。

材料識別マーク表記の工夫 を掲載

パッケージのみに表示していた材料識別マークを一部の製品で包装材そのものにも表記したことについて

お客様の声:今後はリサイクルに一層気を遣ってほしいと思いました。

☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆..
発行年月日:2006年04月07日

今年も実施！地域の清掃活動 を掲載

お客様の声:近所に住んでいるのですが、このような活動を行っていることを知り、驚きました。

☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆..
発行年月日:2006年06月09日

グリーン購入法適合製品のご案内 を掲載

(財)日本環境協会が運営する「グリーン購入法特定調達物品 情報提供システム」への登録をすることで社外への情報公開を行っていることについて

お客様の声:グリーン購入法特定調達物品 情報提供システムについては非常によいと思いました。
勤め先でも備品購入に対しての取組みを行っています。出来るだけ多くのグリーン購入法に適合した製品・部品の販売を期待しています。

☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆.. ☆..

社会貢献活動



地域貢献活動

【新入社員によるごみ収集作業】

今年も4月10日に地域貢献活動として、新入社員15名+引率者2名にて会社周辺のゴミ拾いを行いました。雨が降っていることもあり2時間の予定を20分繰り上げて終了しましたが、昨年以上のごみが集められました。



ゴミ拾いによって親睦も深まった
新入社員 15名

集められたゴミ



～Co2削減／ライトダウンキャンペーン～ 「ブラックイルミネーション 2006」への参加(本社のみ)

参加施設一覧に弊社の社名も掲載。
<http://www.wanokurashi.ne.jp/act/campaign/offlist.html>
ライトダウンキャンペーンの期間中は弊社ビルの
ネオンライトを消灯しました。



今後の取組み



製品の環境配慮設計 環境負荷の少ない製品を

当社は全ての製品開発段階で環境配慮設計と製品環境アセスメントを実施し、今後もより環境に配慮した製品作りに注力します。

より多くの環境配慮設計製品（RoHS指令対応製品・グリーン購入法適合製品など）をお客様にお届けできるよう、様々な環境情報を提供していきます。

限りある資源を大切に 無駄を減らし、有効活用・リサイクル

電気・灯油などの使用量をCO₂換算で27期使用量に対して6%削減する目標を継続します。天候不順などで達成できない場合もありますが、6%削減を毎年実現できるように取り組んでいきたいと思えます。

廃棄物を削減するためにより一層分別を行い、また、リサイクルできなかった不要物のリサイクル先を探すなど、リサイクル化率を向上させていきます。

32期では廃棄物のリサイクル比率82%を目指します。

グリーン購入の推進 環境保全活動の輪を広げよう

製品・部品の調達におけるグリーン購入を実施し、環境保全活動の積極的な実践、化学物質管理を実施しているグリーン企業からの優先購入を推進します。

社内で使用する事務用品類でもグリーン購入を推進します。

販売促進活動での環境意識向上 みんなで取り組もう

当社ではWEBやカタログ、メールマガジンなどを通して、様々な環境情報の提供や環境保全活動に対する啓発を今後も行っていきます。

環境保全活動の実施 自らが実践します

チームマイナス6%への参加など様々な環境保全活動を実践します。

32期の環境報告書を発行します。(2007年10月発行予定)

発行月	2006年10月
次回発行予定	2007年10月
対象分野	環境、社会貢献
作成部署	技術支援部
連絡先	住 所: 〒920-8512 石川県金沢市桜田町三丁目10番地 E-mail: environment@iodata.jp ☆ご意見、お問い合わせはこちらまで☆
HP アドレス	http://www.iodata.jp/ (環境保全活動) http://www.iodata.jp/sp/green/